

令和7年度地域日本語教育推進事業

「医療関係者向け やさしい日本語等セミナー」

長崎県の在留外国人は令和6年2月時点で、15,692人と過去最高人数を更新しています。

また、令和9年度から「育成就労制度」が開始され、特定技能制度の見直しにより、県内においても家族滞在が増加し、外国籍の妊婦や乳幼児のさらなる増加が予想されます。

本セミナーを通じて、周産期医療における外国人対応等について学びましょう。

定員

50名
(先着順)

参加費

無料



講師

順天堂大学大学院

医学研究科 教授 武田裕子氏

講師略歴

筑波大学医学専門学群卒業。専門は医学教育、地域医療、プライマリ・ケア、国際保健。健康格差の社会的要因(SDH)に関する教育・研究を大学で行い、週に一度、都内の在宅医療クリニックで訪問診療に従事。在留外国人の健康格差の改善に向けて、医療機関における「やさしい日本語」の普及に取り組む。

対象

妊婦期・新生児期・乳幼児期の医療・検診等に携わる医療関係者の方々

方法

オンライン (Webex)

12 / 9 TUE
13:30 - 15:00

申込方法 二次元コードを読み込みフォームを入力

申込期限 **11月21日 (金)**

その他 お申し込みいただいた方に会議URLを送付します

